

真の神祀りの始めは

「国軸山」宇宙産の軸である

あおね みね

吉野創根ヶ峰の山頂です。

三代目 東核芒種大伝道師

加古藤市

生命を誕生させる神力氣は二つも三つもありません。ただ一つの神力氣しかないのです。その神力氣に感謝することが真の神への参詣さんけいであります。そこには「絶対に争い戦いは致しません」「しかありません」。

人類の大祖せいめい人生命継承じんせいけい権憲邪けんけんじや「初代」伊邪那岐尊いざなぎのみことは、童児の時、男の六根「眼げんにびぜつしんい」耳鼻舌身意にびぜつしんい」の意志いし靈魂れいこんの清浄せいじやうの為に一人旅をされ、緑豊かな山の尾根おしねが何処どこまでも続く、吉野の山を創造つくりり出す創あひ（青）根ヶ峰ねがみねに立たれた時、此の素晴らしき大自然の有り様の中に、植物・動物・人間が三位一体である事への感謝のお祀りする地は、他に無いと思われ、三つの岩石を置かれた祀りが人類信仰の始まりであります。

その後大丹生家おほにまうけ（天皇家）丹生家（天皇家の分家十八家）にて、祀りは二十年毎に交代制を以って継承されてきました。仏教伝来により衰退していく中で、役行者は継承けい続けるために修験道として今日まで遺のこされたのです。今年御開帳ごかいだうになっていきます。まず金峯山寺きんぷせんじの蔵王権現の御姿が植物の生命継承せいめいけい権憲邪けんけんじや（元生産親さま）動物の

生命継承権憲邪(元生産親さま) 人間大祖人の生命継承権憲邪「初代」伊邪那岐尊・伊邪那身命で御座居ます。

今、世界が混乱極まる事態となつて此の時期に、ユネスコ憲章「人の心の中に平和のとりでを築く」といつ文で始まり戦争に至る争いのもとを心の中から取り除くことを謳って世界遺産になった事を、作法だけの修験道ではなく、修験者一人ひとりが、又全世界の一般参詣者も日本国憲法第一条の大丹生家(天皇家)と第九条の「絶対に争い戦いを致しません」と言つ六根清浄の靈魂で「平和祈りの大護摩供」をする事に気付かない限り、世界恒久平和への百難を突破する事が出来なのです。迷路に入った者は真の道を問わないで、ますます迷路へ入って行きます。天の暦の数は汝の身にあります。天とともに生きている事を悟るときです。物だけでも生きられぬ、心だけでも生きられないのです。物心一如に目覚めなければ、この生命界地球を救う手立てがありません。総ての人々人間が大宇宙産の仕組みを理解していかなければならないのです。この地球を中心とした大宇宙産に仕組みられている生命が、生えて生やす、生まれて産む、食べて食べられる営みの仕組みであることを、悟らなければならぬのです。そこには絶対に争い戦いはないのです。

平成十六年世界遺産となった理

創根ヶ峰 標高858メートル

創(青)根ヶ峯の山頂に、今から約720万年前人類の大祖人として、天上神靈津の天命より、人間の生命継承権を貸與されて、この生命界地球の免疫所「與謝津」の天記津州なる、丹波国の真名井原丹庭に御降臨遊ばされた人間人類の「初代」伊邪那岐尊が幼少の大丹生童児の時、「この地に立たれ、植物・動物・人間三位一体の生命継承権憲邪(佛教では弥勒菩薩)神靈真力氣を三津の岩石を並べ、人類人間が自然界に感謝するお祀りされたのが神仰の始まりでありました。

その後、大丹生家すめらぎ天皇の命により、分家の丹生家三十六名で、二十年毎の交替制を以つて先祖累代にてお祀りしてました。丁度、役小角が当番されてました時に、天武天皇が、役小角を呼び出され、「我が日本国の初めの地は、筑紫の国の日向の高千穂の峰であるのに、得体の知れぬ神祀りは即刻取り払い、山下に下ろすべし」と命ぜられました。役小角は「天武天皇の御詞なれど、大丹生家すめらぎ天皇の命により、分家の丹生家三十六名で、二十年毎の交替制を以つて先祖累代にて、お祀り続けてきていますのでお断りいたします」と言われたので、役小角

を直ちに逮捕して伊豆の大島に流罪され追放されたので御座いました。そして、現在創(青)根が峰の山頂から金峯神社に下る中ほどに、三十六社が祀られていましたが、それでも氣に入らず、とうとう現在のこの地に吉野水分の神に変えて三十六社として祀られています。

世界遺産となった三野(三つの野)

吉野・大斎原熊野古道・高野山

総ての生氣物を生み生かし育む神

いせいいなり

みや

「伊勢生成の神」がこの度この三野(宮)を世界遺産にお選びになられました。

総本山金峯山寺蔵王堂 三体の御本尊金剛蔵王権現

金峯山寺蔵王堂に祀られている三体の御本尊さまは、左尊(弥勒菩薩)中尊(釈迦如来)右尊(千手観音菩薩)としていますが、真実の御本尊さまは左尊(植物の元生産親・生命継承権憲邪)中尊(人間の元生産親・生命継承権憲邪)右尊(動物の元生産親・生命継承権憲邪)の御姿であります。

天武天皇が丹波の真名井原丹庭に御降臨に成られた人類の大祖人生命継承権憲であらせられます「初代」伊邪那岐尊・伊邪那身命を消し、神倭伊波礼昆古尊(神武天皇)を初代天皇にする為に、古事記・日本書紀を編纂させて、「我が日本国の始めの地は、筑紫国の日向の高千穂の峰である」と唱え、日本の歴史を神武天皇から約二七〇〇年が過ぎてきました。

山号・国軸山と称されています。吉野山の信仰を元の神祀りに祀り直し、吉野・熊野・高野の歴史を明らかにして初めて世界遺産と成るのです。

現在の佛教の祀り方を続けていては、総本山金峯山寺蔵王堂の金剛蔵王権現だけの宝物と成ってしまい、世界遺産にはなれず、約二七〇〇年以前の神仰に還さなければ世界の遺産にはならないのです。

佛教で全世界に伝えていると、佛教を信仰している人たちは、全世界のほんの一部分の人たちにしか通用しません。蔵王堂の三体を、元の御姿・真実の御本尊さま左尊（植物の生命継承権憲邪）中尊（人間の生命継承権憲邪）右尊（動物の生命継承権憲邪）の御姿であると言つ時に、初めて世界の信仰の中心「国軸山」の総本山金峯山寺蔵王堂となるのです。

この事を全世界人類に伝えるべきときが到来して居るのです。

合掌

平成十七年三月二十九日